

2011年3月11日(金)

名古屋大学大学院 国際言語文化研究科

中島那奈子氏 講演会

めぐり／あう メディアとしての身体

日独ダンスプロジェクト テイクバ+循環プロジェクトのドラマトゥルギー

対談・デモンストレーション：砂連尾 理

全体進行：新井美佐子 司会：山口庸子

名古屋大学 文系総合館 7F カンファレンスホール 午後4時00分より 入場無料・予約不要

東山キャンパスマップ <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/> 66番

Theater Thikwa: 1990年、障がいのある人・ない人もパフォーマーとして鍛錬される場として発足、今日まで、ベルリンの舞台芸術シーンに一石を投じる役割を果たしている。

Junkan Project: 障がいのある人・ない人の境界線を、舞台表現を通してクリエイティブに超える試みとし2007年に始動。Thikwa+Junkan Projectには、一部メンバーが参加。



中島那奈子：1978年生。日本舞踊宗家藤間流師範名執藤間勘那恵。2006年よりNY大学客員研究員、2007年よりDAAD奨学生としてベルリン自由大学留学、論文『踊りにおける老いの身体』で博士号取得。2010年よりベルリン自由大学演劇研究所助手。2004年からダンス・ドラマトゥルクとしても活躍、ルシアナ・アーギュラーとの作品は2006年度NYダンス・アンド・パフォーマンス・アワード（ベッシー賞）受賞。

砂連尾理：振付家・ダンサー。1991年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を展開し、ジャンルの越境、文脈を横断する活動を行っている。2008年から1年間、文化庁研修員としてベルリンに滞在。立命館大学、神戸女学院大学非常勤講師。

名古屋大学大学院 国際言語文化研究科 アソシエイティブ・メディア研究プロジェクト（代表者：布施哲）

問い合わせ先：名古屋大学大学院 国際言語文化研究科 新井研究室 arai@lang.nagoya-u.ac.jp